

第6期 新宿区多文化共生まちづくり会議 第11回全体会 議事概要

日 時 令和6年7月3日（水）10:00～12:00

場 所 しんじゅく多文化共生プラザ

出席委員 小林会長、伊藤副会長、金副会長、郭委員、申委員、ゼヤー委員、松田委員、楊委員、李委員、江副委員、タイン委員、叔委員、鈴木委員、立川委員、陳委員、ドゥラ委員、原田委員、朴委員、センブ委員、宗像委員、塚本委員、守重委員 22名

欠席委員 長谷部委員、毛受委員、チャン委員、安藤委員、奥田委員、ブサン委員、コチュ委員、井上委員、佐々木委員、山口委員 10名

1 開会

2 事務局からの情報提供

外国人住民の人口 ・在留資格制度

事務局からの説明をもとに、委員から意見をいただいた。

- ・育成就労制度とともに、永住資格の取消しも可決されている。せっかく日本を選んで、日本でずっと住み続けている人たちの生活が脅かされないとよいと思っている。
- ・労働力である外国人、留学生等の人材を各国が取り合う激しいグローバル競争の中にある。給料や待遇と同時に、多文化共生や家族の住みやすさも競争の要素になる。
- ・ネパール人は日本に行きたいという人が多かったが、最近韓国やカナダ、オーストラリアに行く人が多い。日本は家族を連れてくるのが難しく、ビザがダメになると帰らなければならない。家族の未来のために日本以外を選ぶ人が多くなっている。
- ・日本の在留資格制度はネット上に漢字で表記されていて難しい。NPOは翻訳や説明を期待されるが予算はない。NPO等が企業や区役所と手を組んでいけばよい。
- ・日本は地域で時給が違う。時給の高い東京に人が集まってしまう。日本政府はしっかりシステムをつくり、フォローアップをしてほしい。

3 報告書（案）について

（1）報告書（素案）からの修正箇所の確認

（2）報告書（案）の審議

事務局からの説明をもとに、委員から意見をいただいた。

- ・例えば、日本の社長は従業員に声をかけたり、会社の前を一緒に掃除したりするが、外国の社長はなかなかしない。文化の違いを感じる。
- ・大久保地域のまち歩きと施設見学はよかった。このような機会を増やしていただけると、会議が意見だけで終わらずに、互いの違いを理解することになると思う。
- ・審議結果報告書の委員名簿には、全員の国籍とフリガナがあるとよい。
- ・審議結果報告書は和暦と西暦の両方を使うとよい。
- ・新宿区では、今後、特定技能の宿泊や外食の分野が増えてくると思う。企業は外国人を受け入れるために、先に来日している学歴もあって通訳できる人材の確保が必要と思う。
- ・今までは留学生が多かったが、これからは就労資格の方が増えてくる。
- ・多文化共生の研究対象としては、定着性の低い留学生よりも、定着性のある就労資格とその家族を調査研究するとよい。
- ・p 39のまち歩きの地図は、本文に合わせて、施設名や通りの名前を記載するとよい。
- ・p 46の多文化共生意識の醸成に関する記述について、外国人への偏見・差別をなくすための努力について加筆すると、価値のある提言になると思った。
- ・p 24の差別・偏見の記述の中で「マナー」を「ルール」に修正するとよい。また、文章を、例えば「日本での生活習慣を理解した上で、外国人住民が地域に溶け込む努力をする必要がある」という言い方のほうが自然である。

4 次期会議の審議テーマについて

事務局からの説明をもとに、委員から意見をいただいた。

- ・偏見・差別について、外国人と日本人で認識にずれがあるかもしれない。このため、次期テーマについて、差別・偏見というこれまでと違う切り口を考えてもよい。
- ・第5、6期を横断して見ると、地域のお祭り、イベントの参加促進といったようなキーワードがある。第7期はもう少し掘り下げていきたいと考えている。具体的には、地域コミュニティの活性化や、地域課題の解決について話せばよい。
- ・最近のベトナム人のエリートは、5年ほど日本に住んだ後にシンガポールに行く人が増えている。優秀な人はなぜか日本以外の国を選んでしまう。
- ・次期テーマは、日本人と外国人が一緒に生活するきっかけをつくる、というのをテーマにするとよい。
- ・日本人と外国人がイベントを通じて一緒になることをみんな希望しているが、日本人からするとチャレンジだと思う。共生することに特典をつけると、住みやすくなると思う。
- ・外国人には住まいが一番大事である。人が住んでいない空き家を国がリフォームして外国人が住めるようにすると、地域の活性化にもなる。

- ・地域でイベントをやると、日本人でも若い人がなかなか出てこない状況である。そこに外国人を呼ぶにはどうすればよいかと思う。私たちも変わっていかなくてはいけない。

5 その他

事務局から次回開催日程を説明した。

6 閉会